

# 第12回 シアター X<sub>カイ</sub> 国際舞台芸術祭

The 12<sup>th</sup> Theater X<sub>カイ</sub> InterNational Dance & Theater Festival I.D.T.F. 2016

2016年6月11日(土) ~ 7月10日(日) June 11, Saturday - July 10, Sunday 2016

Change with Hokusai!

かぶこうん!

HOKU SAI  
北斎と

新しい ka歌 bu舞 ki伎 をつくる

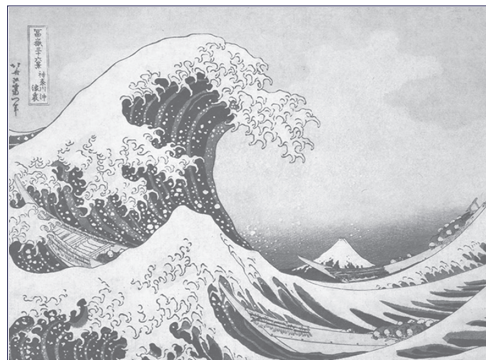
世界を変えてきたのは、変えていくのは、—— 芸術だから。



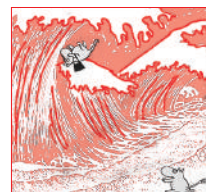
'16 I D T F 作品集 (詳細裏面)



フィンセント・ファン・ゴッホ(オランダ)  
Vincent van Gogh (The Netherlands)  
『星月夜』"The Starry Night"

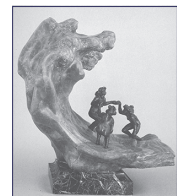


葛飾北斎『神奈川沖 浪裏』Hokusai Katsushika (Japan) "The Great Wave off Kanagawa"



カミーユ・クロデル(フランス)  
Camille Claudel (France)  
『波または水浴』  
"La Vague ou les Baigneuses"

トーベ・ヤンソン(フィンランド)  
Tove Jansson (Finland)  
『ムーミン』"Moomin"



劇場 シアター X<sub>カイ</sub>

〒130-0026 東京都墨田区両国2-10-14 tel:03-5624-1181  
fax:03-5624-1166 http://www.theaterx.jp info@theaterx.jp



2016年6月11日(土)～7月10日(日) June 11, Saturday - July 10, Sunday 2016

メインテーマ **北斎とかぶこう!**

北斎(葛飾)は、近代西洋の美術芸術がイタリアやスペインやフランスなどを中心に誇り繁栄していたその思想とスタイルとの潮流に、煮え湯を浴びせたような激しい衝撃を与えたもののようだ。

江戸末期、現在のすみだ界隈の文化ゾーンにて 自称「画狂人」とも号した北斎は、貧乏ぐらしにもかかわらず西洋画を含む さまざまな潮流の画風を常にむさぼり学び、権威や権力からは疎まれつつも既成にとらわれず、大胆にそれらを超えた——すなわち「既成を傾ぶけた」、「かぶかせた」「かぶいた」変革の構想・構成による独特の様式を探求。89歳まで絵筆をとり絵師魂を貫いて、生き抜いた。

そのような、ご先祖様の芸術家の心眼にこそ あやかっ、かぶいて みませんか!

◆公募作品について◆

- ①テーマによる独自の作品をつくる。
- ②『デイズマーダンス』(IDTF実行委員会制作予定)のテキストを素材にしても構わない。

参考例

『デイズマーダンス』(コンセプト)

この世のものから目に見えぬものまで、なにもかも描き尽してしまいかねない勢いで莫大な量の絵を描いた葛飾北斎だが、北斎漫画を見る限り、幽霊の絵はあつても死者の絵は見当たらない、見落としているのかもしれない。

そこで北斎があまり描かなかった死人たちとかぶこうと思ったが、さて、どのようなものが提出できるだろうか。

作品づくりの上で、ヒントにしているのは、かの阿国歌舞伎である。出雲の阿国の踊りが有名になったのは、阿国が、嘗て自分を愛でてくれた名古屋山三郎の格好をして、阿国役は誰かに任せて、二人して愛し合った日々を舞台に乗せたからではないか。またこの作品が、死者である名古屋山三郎との掛け合いだったので、これも、能もどきの大衆演劇ではなかったかという人もいえるらしい。私はこの説に大賛成で、そんなものであったにちがいないと思っている。

ところで、今回の作品は、名古屋山三郎ではないが、さまざまな死人の声を聞こうとするものだが、「死の舞踏」といった言葉からイメージされる、芸術的なものではない。より即物的に、死人との交流ができないかと試みるものである。

(西田敬一)

\*テキストを参考にされたい方はシアターXまで。

■参加条件■

- ①フェスティバル期間中に 1 ステージの公演ができます。  
上演時間:ダンス…15分以内。シアター…40分以内。
- ②経費負担について  
a) 劇場・宣伝にかかる経費は、主催者(IDTF)が負担。  
b) リハーサル・仕込み・本番のスタッフはIDTFが負担。  
ただし、参加者側が独自に行う宣伝、及びスタッフを準備する場合は、自己負担。
- ③参加費について  
\*参加費 ダンス30,000円 シアター50,000円。  
\*参加者はチケット(1,000円)を 800円に割引きます。
- ④その他  
フェスティバル参加者には、自らの作品発表だけではなく他の作品を観ることも大切ですから、全作品有効のフリーパスを差しあげています。  
また、毎ステージ後に観た人と演じた人が一緒に話し合う「アフターミーティング」を行います。

■応募方法■

- 2016年2月15日提出締切
- 次の3点を送付してください。
- [1] どのような作品を創ろうと思っているのか A4 一枚以内であらわしてください。
  - [2] 応募グループのプロフィール。連絡先を明記。
  - [3] 審査手数料として 3,000円分の定額小為替。

2016年2月29日 実技審査

シアターX 劇場舞台にて  
\*応募作品の創作途中のものか、任意のものを10分程度でプレゼン、その後インタビュー。

- 審査委員:シアターX IDTF実行委員  
西田敬一 ケイタケイ 折田克子 矢野通子 八木昭子  
宗重博之 榎本妃佐子 古賀豊 上田美佐子  
(その他特別審査員を予定)

☆プレシンポジウム☆

『歌舞伎の興り——かぶく!とということ』

講師: 佐藤恵里

ゲスト: 大野慶人



歌舞伎研究者、高知県立大学特任教授。日本芸能史、歌舞伎史、民俗芸能論。『歌舞伎・俄研究』で日本演劇学会河竹賞、高知出版学術賞受賞。



舞踏家。シアターX IDTFでは歌舞伎のオーソリティ郡司正勝氏の遺作『ドリァングレイの最後の肖像』や『宴・死・日常』の基調指導など。



司会: 西田敬一(サーカス制作者) IDTF実行委員

2015年12月15日(火) 18:00~21:00

シアターX 劇場にて 参加費1,000円

お申込み・お問い合わせ

劇場 シアターX<sub>カイ</sub>

〒130-0026 東京都墨田区両国2-10-14 tel:03-5624-1181 fax:03-5624-1166 http://www.theaterx.jp info@theaterx.jp

